

身近だけど知らない…川と生きた暮らしの記憶

利根川と生活

福島やすとし

かつて利根川と川漁が生活の一部であったと語る著者による地域民俗誌

経験豊かなおじいさんが現代の若人たちへ当時の生活の一端を語る様に書かれています。

川漁話を中心に据えながら、テレビなどで聞く「貴重なタンパク源」という言葉が、日本においても身近であった頃の様子をうかがうことができます。

また、当時の漁や罾の姿がイラストで描かれており、かつての魚とりの方法に関心のある大人から、自分たちの生活は過去からどのように現代まで続いたのかを知りたい若人も本書を楽しめるのではないのでしょうか。



定価(本体 1000 円+税)

A五判・並製本・82頁

ISBN 978-4-89623-165-6

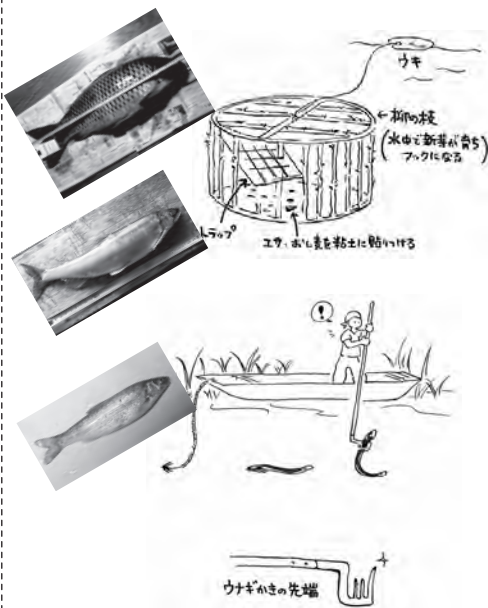
地域民俗

ウナワ漁 (本書より引用)

おもにアユをとるため、8月上旬〜8月下旬に行われた方法である。通称ウナワヒキ。

または鵜縄とよんだ。ウナワは、径4〜5ミリの水糸に、ウ(またはカラス)の羽をずらりと付けた。長さ50メートルほどの綱である。羽は40〜50センチ間隔に付けられ、その間に板鉛を錘として巻いた。羽がうまく水底をこすっていくようにする。中央部には数本2〜3メートルの細い水糸を付け、先に竹片をつけ浮き目印とした。これによって、ウナワの状況がわかる。(後略)

狭いようで広い日本。身近なようで、知らない暮らしに触れてみませんか



川漁の方法や利根川の魚をイラストや写真で紹介



申込書

利根川と生活

— 間々田地区、川魚漁の記憶 —

福島やすとし

(本体1000円+税)

ISBN 978-4-89623-165-6

注文数

冊

お名前

電話番号

書店名

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

まつやま書房

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>